

令和7年6月5日

愛媛大学

「学生による調査・研究プロジェクト(プロジェクトE)」 研究成果発表会を開催

愛媛大学では、学生が自発的な発想で課題を決定し、大学から経費支援を受けながら調査・研究を行う「学生による調査・研究プロジェクト(プロジェクトE)」を実施しています。これは、学生へ自主的に学ぶ機会を与え、その過程を通じて学生の成長を促すことをねらいとしており、今回で24回目の発表会となります。

発表会は、前半はプレゼンテーション、後半はポスターセッションを行います。

学生の素朴な疑問や地域の課題解決を目指した取組など、学生が1年間試行錯誤を繰り返しながら取り組んできた成果をぜひ御覧ください。

これまで学生が意欲的に取り組んできた調査・研究の集大成となりますので、地域へ広く周知いただきますとともに、是非取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時：令和7年6月19日(木) 13時00分～16時45分

場 所：愛媛大学城北キャンパス 総合情報メディアセンター1階 メディアホール

対 象：学生、教職員、一般の方

参 加 費：無料

申込方法：事前申込は不要です。当日会場へお越しください。

駐 車 場：無（公共交通機関をご利用ください。）

※ 伊予鉄道市内電車「赤十字病院前」下車、北へ徒歩約3分。

※ 報道機関の方で、車で取材に来られる場合は、正門横の守衛室で会社名等をご記入の上、来客用駐車場を利用してください。

本件に関する問い合わせ先
教育学生支援部教育支援課
担当：野間、デューブル
TEL：089-927-8340
Mail：junseika@ehime-u.ac.jp

※送付資料 2枚（本紙を含む）

第24回愛媛大学「学生による調査・研究プロジェクト（プロジェクトE）」研究成果発表会 プログラム

- 日時：令和7年6月19日（木） 13:00～16:45
- 場所：愛媛大学城北キャンパス 総合情報メディアセンター 1 F メディアホール
- スケジュール
- 13:00～13:10 開会挨拶 仁科 弘重 学長
- 13:10～14:50 プレゼンテーション発表（1取組5分以内×14課題）
- 14:50～14:55 休憩 （ポスターセッション準備）
- 14:55～15:55 ポスターセッション発表
- 15:55～16:15 休憩 （審査）
- 16:15～16:45 表 彰 八尋 秀典 副学長
- 閉会挨拶 羽藤 堅治 副学長
- 記念撮影

■ 発表課題一覧

No	種目	学部・研究科名	採択時 学年	個人・代表者名	課 題 名
1	1	教育学部 学校教育教員養成課程	1	ナガタ マユ 永田 真悠	動作・姿勢がクラリネット発音に与える影響分析を 実現する奏者生体―楽器連成モデルの開発
2	1	教育学部 学校教育教員養成課程	2	オオイエ ホノカ 大家 帆香	みかん農家の後継者不足問題解決に向けて ～愛媛のみかん農家にまみれてわかった、みかんの魅力～
3	1	社会共創学部 産業イノベーション学科	3	サイキ 佐伯 ひかり	クロロフィル蛍光によるメロン病害予測の農業者との実践
4	1	理学部 理学科	2	キタノ カン 北野 侃	地球深部に潜むFe-richマグマの物性
5	1	医学部 医学科	2	ヤギ ハルミチ 八木 陽道	いじめの分子細胞生物学的研究 ～いじめをするマウス脳内では何が起きているのか～
6	1	医学部 医学科	2	シナベ リンタロウ 品部 凜太郎	「幸福」とは何か、その生物学的解明を目指す研究
7	1	医学部 医学科	3	トモカ シュリ 富岡 珠里	心肺蘇生法レクチャーが村民に与える意識調査プロジェクト
8	1	医学部 医学科	4	ヤマウチ ヒロト 山内 大翔	なぜ、社会はリーダーを必要とするのか ～安定した民主主義社会の形成を考察するための動物実験モデル～
9	1	医学部 医学科	4	ナガシオ コウダイ 長塩 皓大	マイクログリアに対するBU による超硫黄分子産生誘導の検討
10	1	工学部 工学科	3	サトウ ユリア 佐藤 有利亜	你好町おこし ～言語習得×地域活性化～
11	1	農学部 生命機能学科	1	ワタナベ アヤ 渡部 亜弥	江戸から令和まで、酢酸菌の400年の適応進化を実験室で再現できたか？
12	1	農学研究科 食料生産学専攻	M1	セイケ ヒロキ 清家 凜生	ガンガゼの釣り餌利用可能性調査 ～地域資源の活用と環境保全を目指して～
13	1	医農融合 公衆衛生学環	M2	アメヤ ミサト 飴矢 美里	アンチエイジングを目指した声の年齢診断 ～あなたの声は何歳ですか？～
14	2	理工学研究科 理工学専攻	M1	ヒラモト ソウダイ 平本 宗大	BLEを用いた食堂の混雑度センシングに関する研究 ～誰もが不便なく利用できる学食を目指して～

※種目1：学生の自発的な発想で行う調査・研究
種目2：学生の自発的な発想で行う調査・研究の中で、
特に、学生生活全般（授業、研究、サークル活動、各種手続き等）を良くするためのデジタル化推進に関する調査・研究